

阪堺線収支について

全路線（阪堺線、上町線）の収支について

- ・ 営業収益は、平成21年度に比べて、約42,979千円増加している。
- ・ 営業費用は、平成21年度に比べて、約97,805千円減少している。
- ・ 営業損益は、平成21年度に比べて、約140,784千円改善している。

平成28年度 軌道事業収支表

(単位：千円) 未満切捨

	全路線		大阪市内		堺市内	
	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)	金額	対支援策開始前(H21)
営業収益	1,247,618	42,979	1,003,422	▲ 1,373	244,194	44,352
旅客運輸収入	1,161,854	46,797	938,885	1,659	222,968	45,138
定期外	929,424	103,277	737,873	54,319	191,550	48,957
定期	232,429	▲ 56,480	201,011	▲ 52,660	31,417	▲ 3,820
運輸雑収入	85,763	▲ 3,818	64,537	▲ 3,032	21,226	▲ 786
貸付料	9,224	▲ 6,373	5,836	▲ 808	3,387	▲ 5,565
広告料	49,514	1,736	35,742	▲ 741	13,771	2,478
構内営業料	15,154	▲ 4,710	14,256	▲ 5,035	896	324
その他雑入	11,871	5,530	8,700	3,552	3,170	1,978
営業費用	1,445,984	▲ 97,805	1,012,266	▲ 127,635	433,717	29,830
人件費	693,511	▲ 93,509	477,016	▲ 85,893	216,494	▲ 7,615
電車動力費	81,609	13,820	53,838	7,584	27,770	6,237
修繕費	342,618	▲ 68,819	249,256	▲ 73,127	93,361	4,308
物件費	47,663	5,937	35,206	4,339	12,456	1,599
経費	123,426	42,533	88,863	28,142	34,563	14,392
諸税	73,438	6,335	48,304	2,240	25,133	4,095
減価償却費	83,716	▲ 4,103	59,778	▲ 10,917	23,937	6,814
営業損益 (堺市補助含まない)	▲ 198,366	140,784	▲ 8,844	126,262	▲ 189,522	14,522

(堺市補助)

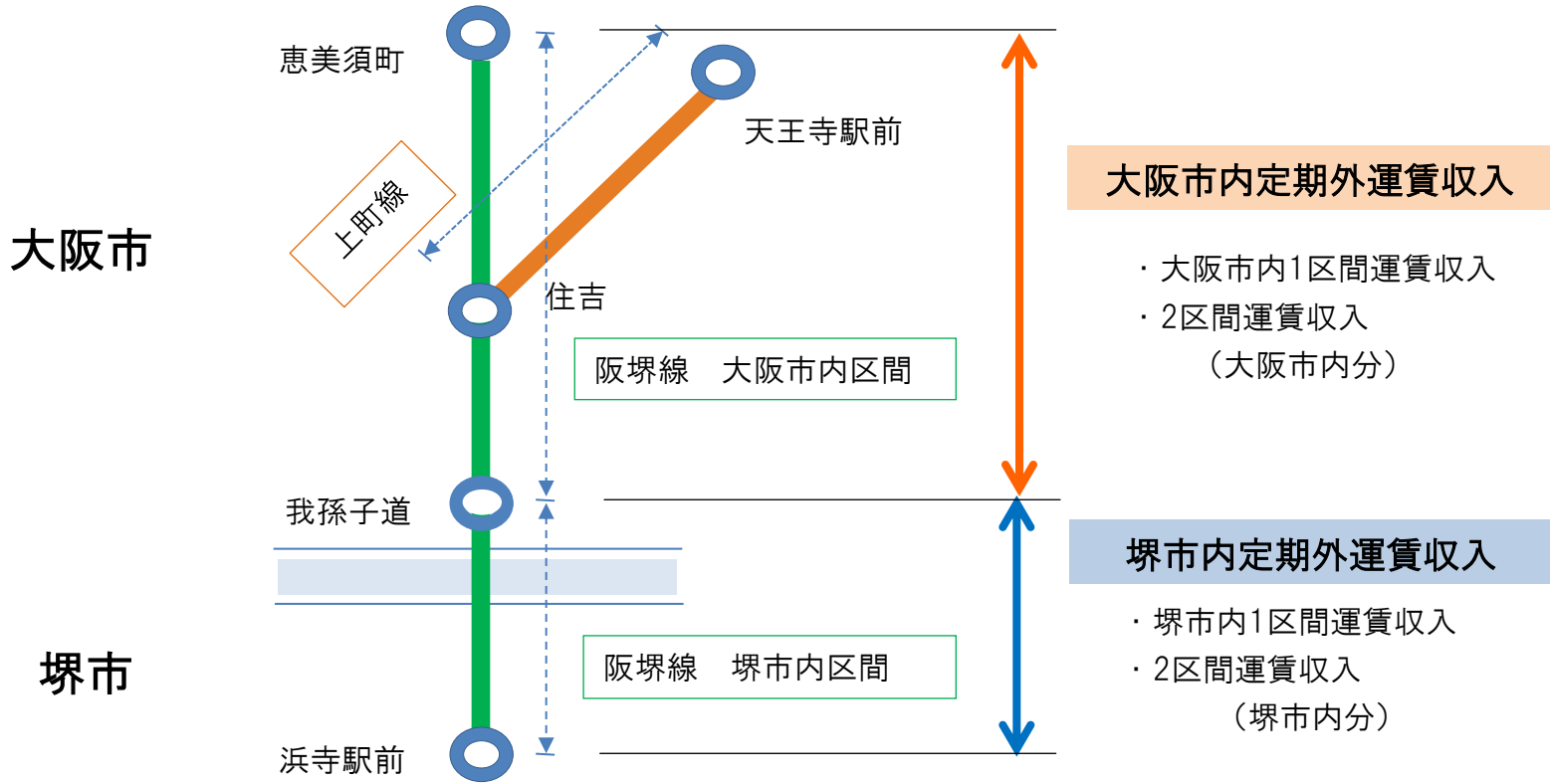
運賃施策への支援	123,078
周知広報への支援	9,992
施設保安・保守への支援	60,000
補助額合計	193,070
営業損益 (堺市補助含む)	▲ 5,296

※2区間運賃均一化(大人290円→210円)・高齢者運賃割引(100円)・堺おもてなしチケット等への支援が通年実施されております。

※施設保安・保守に要する経費への支援が通年実施されております。

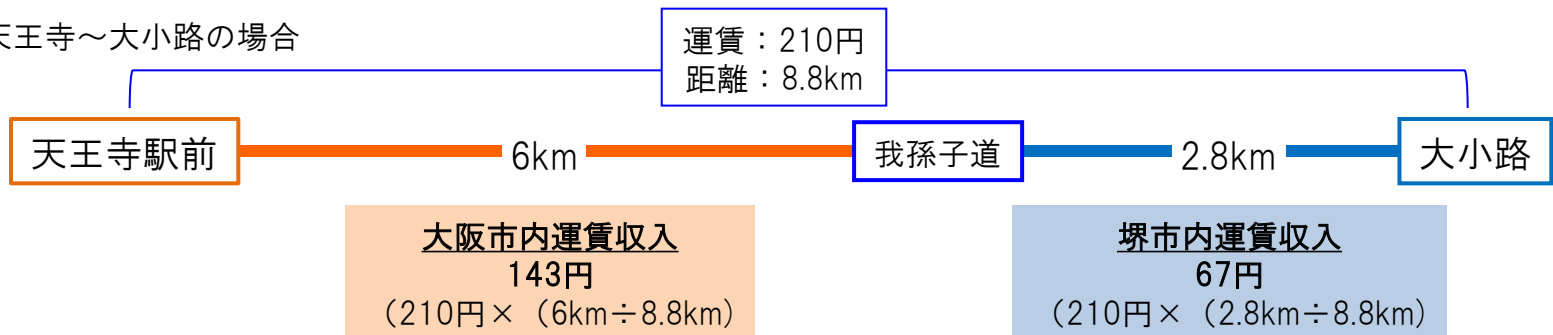
(参考) 定期外運賃収入内訳 (大阪市内・堺市内)

- ・ 2区間の定期外運賃収入は、大阪市内区間と堺市内区間を利用者が移動した距離の比率により割り振ることとしている。
- ・ 交通調査の結果から、大阪市内区間と堺市内区間の定期外運賃収入の比率は、約8：2としている。



○2区間運賃収入について

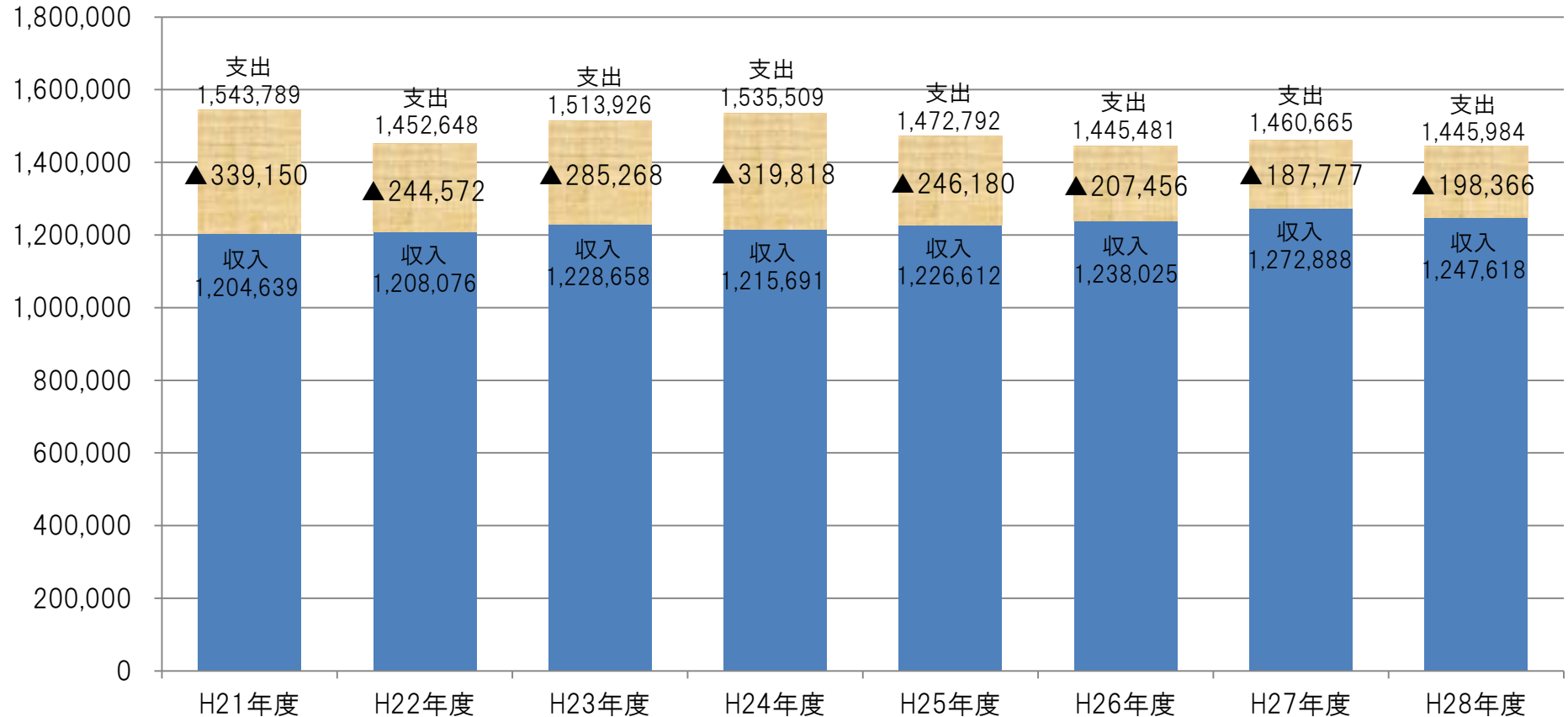
【例】天王寺～大小路の場合



欠損額（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の欠損額は、収入が増加傾向にあり、支出が減少傾向になっているため、支援策前より大幅に改善されている。
- ・ 平成28年度は、平成27年度に比べて収入は減少しているが、支出も少なくなっており、欠損額は平成26年度以前よりも改善されている。

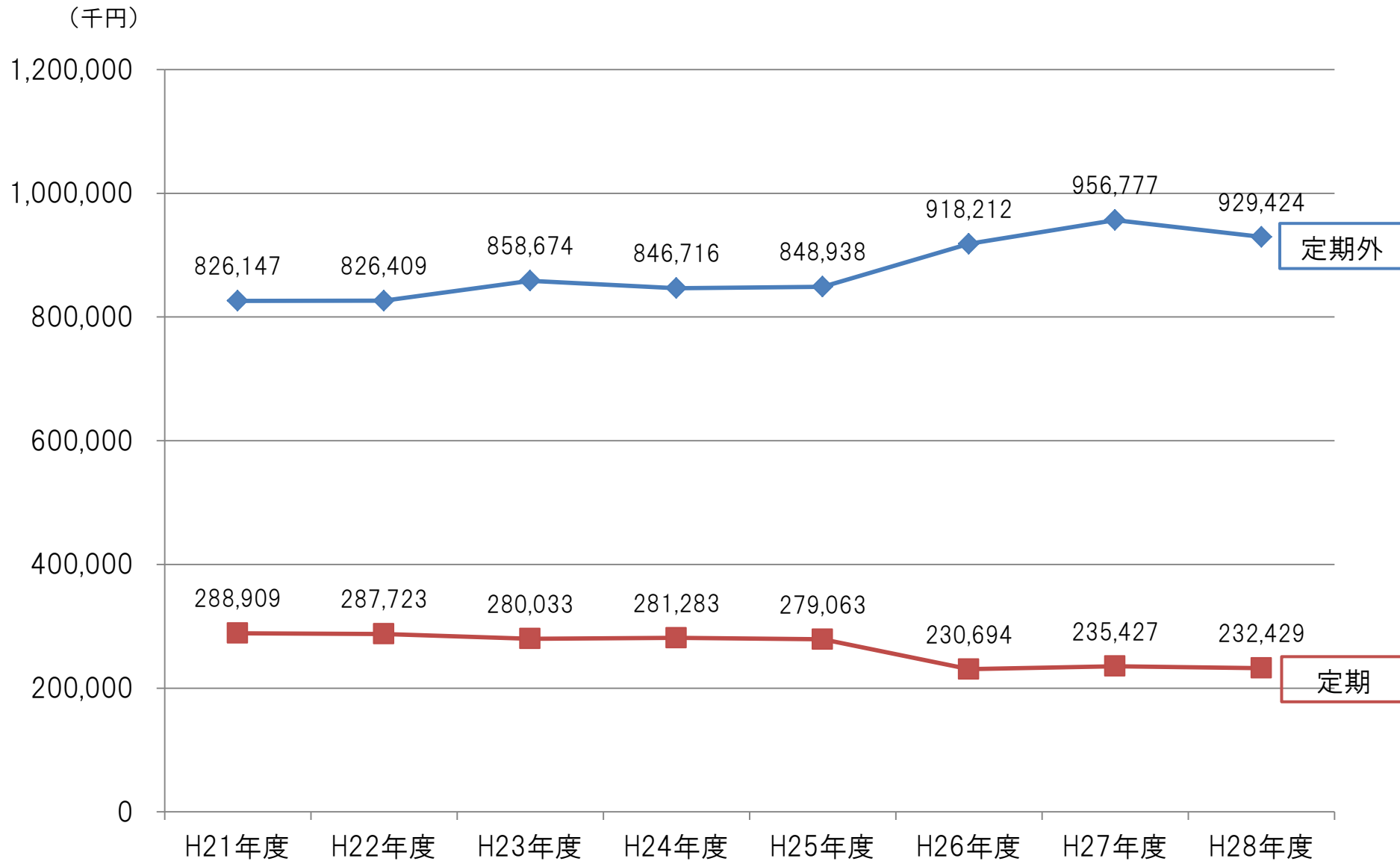
(千円)



堺市内 欠損額	204,044 (千円)	203,973 (千円)	213,958 (千円)	231,094 (千円)	181,521 (千円)	193,866 (千円)	184,183 (千円)	189,522 (千円)
大阪市内 欠損額	135,106 (千円)	40,599 (千円)	71,310 (千円)	88,724 (千円)	64,659 (千円)	13,590 (千円)	3,593 (千円)	8,844 (千円)

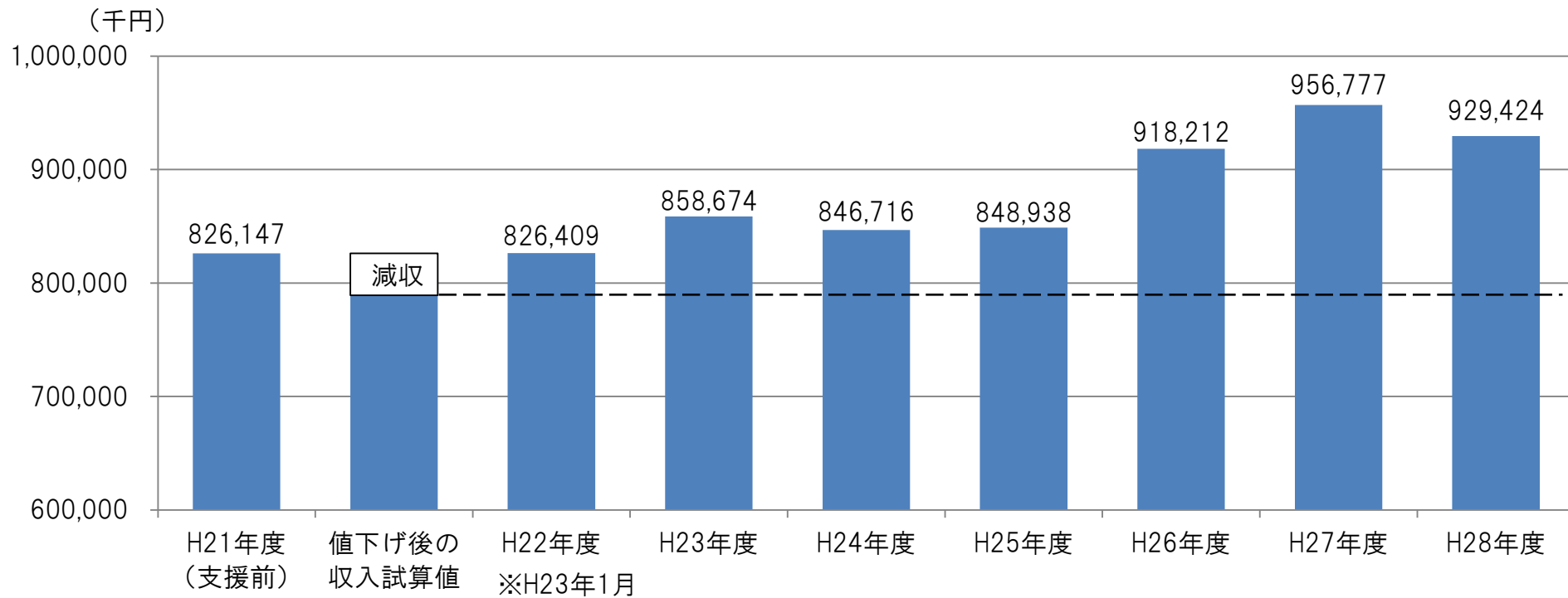
旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

・平成26年度以降交通系ICカードへの転換により、定期の収入が減少し、定期外の収入が増加傾向になっている。



定期外旅客運輸収入（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の定期外運輸収入は、支援策による運賃値下げに伴う収入減以上の収入増加となっている。
- ・ 平成26年度以降、高齢者割引拡充に伴う減収以上の利用者増加及びICカード導入により、収入が増加している。
- ・ 平成28年度は、平成27年度よりも定期外運輸収入が減少しているが、平成26年度以前よりは増加している。



※減収の内訳

- ・ 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化による減収

(H23年1月～H27年1月) 290円→200円 90円/人の減収、(H27年2月～) 290円→210円 80円/人の減収

- ・ 高齢者利用割引による減収

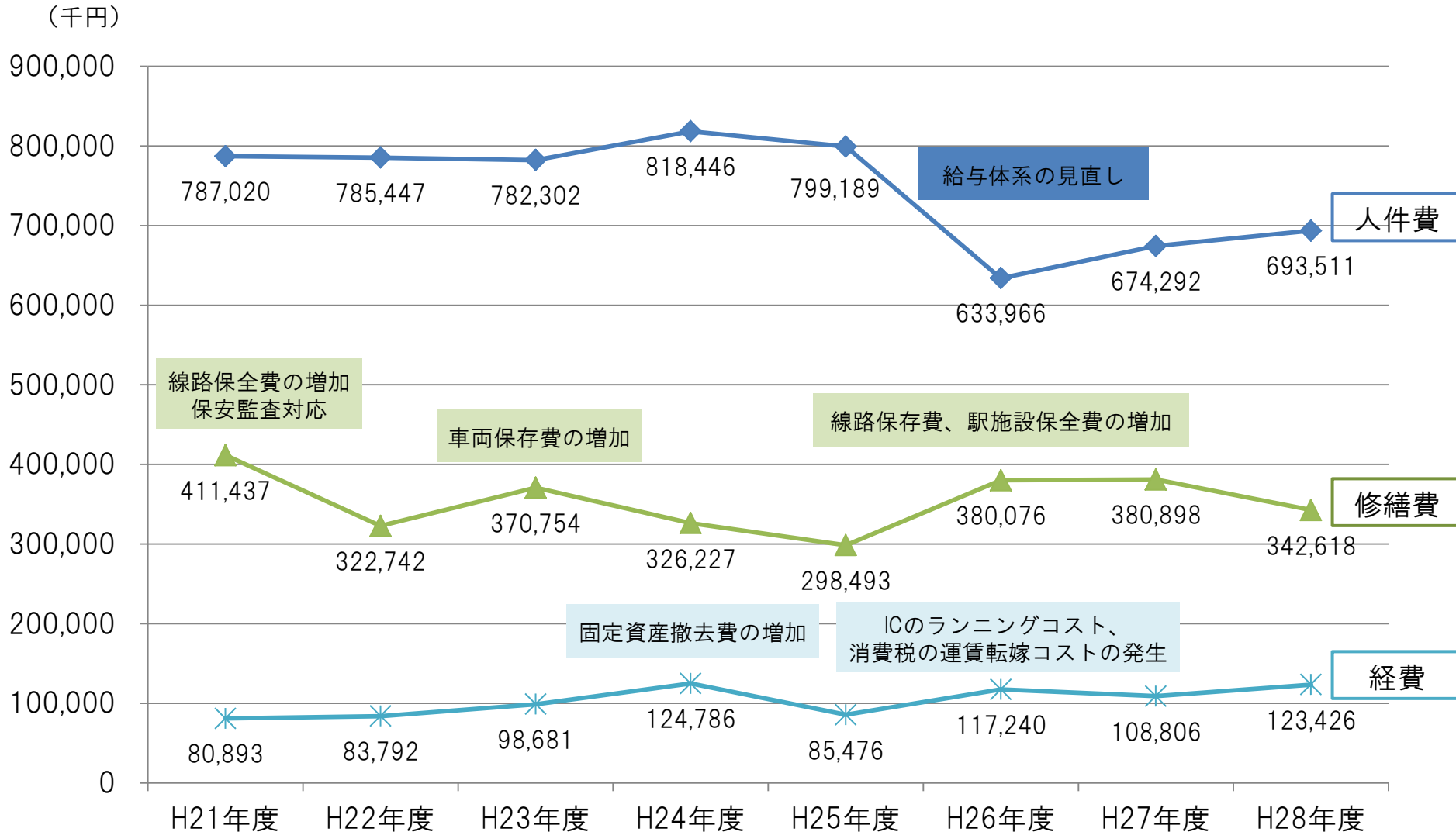
1 区間利用時：(H23年1月～H27年1月) 200円→100円 100円/人の減収

(H27年2月～) 210円→100円 110円/人の減収

2 区間利用時：(H23年1月～) 290円→100円 190円/人の減収

人件費等の支出（堺市補助なし）の推移について

- ・ 阪堺全線の人件費、修繕費、経費の支出合計は、減少傾向にある。
- ・ 平成28年度は、平成27年度に比べて、人件費と経費が増加し、修繕費は減少している。



年間総車両走行キロあたりの収支について

- ・年間総車両走行キロ数が支援策前より減少傾向にある中で、年間総車両走行キロあたりの旅客運輸収入は増加傾向にある。
- ・年間車両走行キロあたりの費用に占める収入割合についても増加傾向にある。

車両走行キロあたりの旅客運輸収入

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464	1,447
旅客運輸収入(千円)	1,115,057	1,114,133	1,138,707	1,128,000	1,128,001	1,148,907	1,192,205	1,161,854
年間総車両走行キロあたり 運輸収入(円/km)	704	708	721	719	735	784	814	803

車両走行キロあたりの営業費用

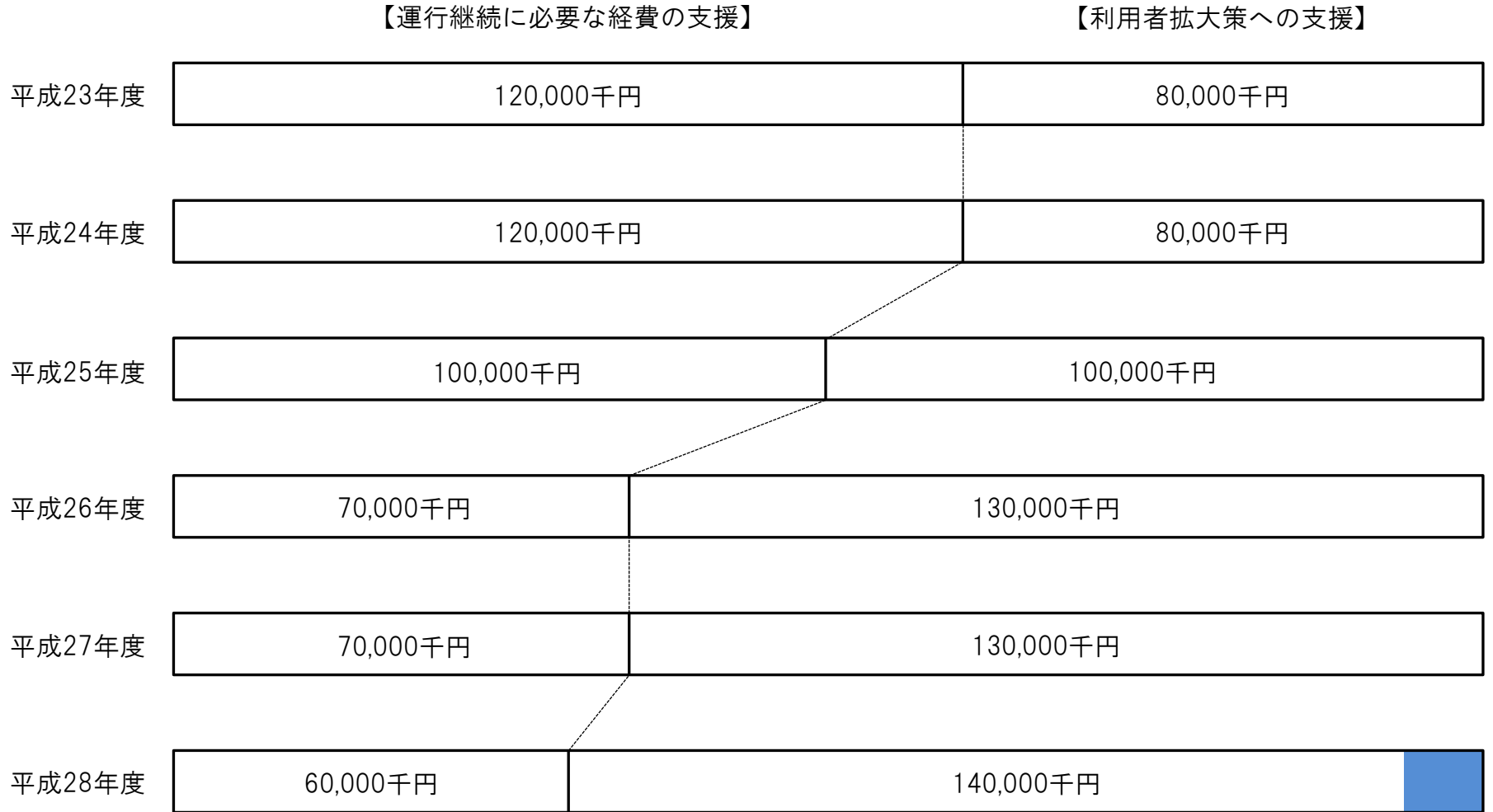
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年間総車両走行キロ (千km)	1,583	1,574	1,579	1,568	1,534	1,465	1,464	1,447
営業費用(千円)	1,543,789	1,452,648	1,513,926	1,535,509	1,472,792	1,445,481	1,460,665	1,445,984
年間総車両走行キロあたり 営業費用(円/km)	975	923	959	979	960	987	998	999

年間総車両走行キロあたりの費用に占める収入割合

H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
0.72	0.77	0.75	0.73	0.77	0.79	0.82	0.80

阪堺線（堺市内区間）の利用者拡大策・運行継続に必要な経費への支援について

- ・年間2億円を上限に利用者拡大策と運行継続に必要な経費に支援を行っている。
- ・平成28年度より、さらなる利用者増加の目標に向け、阪堺電軌の自助努力を促す観点から、利用者拡大に対する補助を重点配分し、目標が達成されない場合は補助の減額も条件としている。



目標が達成されない場合は減額



・利用者拡大策への支援について、平成28年度は、平成27年度に比べて高齢者利用割引への支援が増加している。

1. 利用者拡大策への支援

(1) ゾーンチケットへの支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	487千円	454千円	317千円	463千円	1,246千円	941千円

(2) 高齢者利用割引への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	9,395千円	12,029千円	27,811千円	45,019千円	58,207千円	67,302千円

(3) 堺市内・大阪市内区間の均一運賃化への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	64,212千円	63,265千円	66,718千円	68,798千円	58,302千円	54,835千円

(4) 周知広報への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	5,874千円	731千円	5,153千円	13,720千円	12,245千円	9,992千円

- ・年間2億円が上限のため、運行の継続に必要な経費への支援は減少を続けている。
- ・平成28年度は、利用者拡大策への支援額の目標値に達しなかったため、利用者拡大策と運行の継続に必要な経費への支援合計額は、これまでより減少している。

2. 運行の継続に必要な経費への支援

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	120,000千円	120,000千円	100,000千円	72,000千円	70,000千円	60,000千円

● 利用者拡大策と運行の継続に必要な経費への支援（合計）

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	199,968千円	196,479千円	199,999千円	200,000千円	200,000千円	193,070千円

阪堺線（堺市内区間）の高度化、老朽化対策のための支援について

- ・10年間で30億円を高度化による利便性の向上と老朽化に伴う施設の改修に対する経費に支援を行っている。
- ・平成28年度は、平成27年度に比べて老朽化対策への支援が増加している。

1. 高度化による利便性の向上

(1) 低床式車両の導入

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
実績額	10,020千円 (設計費)	234,000千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)	249,600千円 (車両導入費)
(国補助)	-	81,333千円	83,200千円	83,200千円
(市補助)	-	152,667千円	166,400千円	166,400千円

(2) 停留場の増設、機能改善

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	18,478千円	30,715千円	148,257千円	115,930千円	19,050千円
(国補助)	-	-	45,900千円	16,883千円	-
(市補助)	-	-	102,357千円	99,047千円	19,050千円

※H26年度は石津北停留場新設費など

※H27,28年度は宿院停留場改修費など

(3) ICカードの導入

	H25年度	H26年度
実績額	161,335千円	30,000千円
(国補助)	52,900千円	-
(市補助)	108,435千円	30,000千円

※H26年度はおでかけ応援ICカードのシステム費

2. 老朽化対策

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
実績額	222,034千円	181,411千円	90,034千円	87,078千円	179,830千円	181,060千円
(国補助)	45,418千円	59,617千円	30,012千円	32,078千円	59,115千円	60,354千円
(市補助)	176,616千円	121,794千円	60,022千円	55,000千円	120,715千円	120,706千円